

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測

身長 _____ cm 体重 _____ kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
 イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
 ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いて
 いる時、息切れのために立ち止まることがある。
 エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
 オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部X線写真所見 (年 月 日)

- ア 胸 膜 癒 着 (無・軽度・中等度・高度)
 イ 気 腫 化 (無・軽度・中等度・高度)
 ウ 線 維 化 (無・軽度・中等度・高度)
 エ 不 透 明 肺 (無・軽度・中等度・高度)
 オ 胸 郭 変 形 (無・軽度・中等度・高度)
 カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気の機能 (年 月 日)

- ア 予測肺活量 _____ L (実測肺活量 _____ L)
 イ 1 秒 量 _____ L (実測努力肺活量 _____ L)
 ウ 予測肺活量1秒率 _____ % ($=\frac{1}{7} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は、男性 18—91 歳、女性 18—95 歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (年 月 日)

- ア O_2 分圧 : _____ Torr
 イ CO_2 分圧 : _____ Torr
 ウ pH : _____
 エ 採血から分析までに時間を要した場合 時間 分
 オ 耳朶血を用いた場合: [_____]

6 その他の臨床所見

「活動能力の程度」は等級を決定する際に、重要な項目となります。
 医師の意見等級と照らし合わせ、必ずチェックをお願いします。

- ア……非該当
 イ・ウ……4級相当
 エ……3級相当
 オ……1級相当

「換気の機能」の検査が実施できない場合、その理由を診断書余白にご記入ください。

また、肺機能検査所見があれば、別添で提出をお願いします。

「動脈血ガス」の検査は、認定基準上、安静時の「室内空気下」で実施された検査所見である必要があります。

やむを得ず「酸素投与下」での検査所見の場合、診断書余白に「酸素投与下: 酸素量 () L」を必ずご記入ください。

※ 「酸素投与下」での検査所見の場合、社会福祉審議会(年4回開催)での諮問を要するため、手帳交付までに時間がかかります。(※諮問の結果、非該当となる事例もあります。)

呼吸器機能障害は、嘱託医相談や審議会への諮問を要する申請が非常に多く、診断書の内容確認として、ほとんどのケースにおいて「確認書」(別添)の追加提出を求めている状況です。

確認書(別添)に記載されている内容を「6 その他の臨床所見」や診断書1枚目「⑤総合所見」欄等に記載をお願いします。